

事務事業名	乳幼児健康診査事業				担当	健康福祉部 こども家庭課 母子健康係		
政策名	2 「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～				☐ 総重（総合計画重点事業） ☒ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）		
施策名	1 子育て支援の充実							
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 真岡市健康21プラン 真岡市子ども・子育て支援事業計画							
法令根拠	母子保健法				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 昭和42 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	1.保健衛生費	2.予防費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	【乳幼児健診】 母子保健法第12,13条に基づき、乳幼児の健全な発育・発達を促すために、乳幼児の節目である、4か月、9か月、1歳6か月、3歳の時期に健診を行い、疾病または異常の発見と予防に努める。 また、成長・発達の評価を実施すると共に、保護者に対する育児支援を行う。 【歯科検診等】 むし歯罹患率は月齢が進むに連れ高くなるため、2歳時に集団検診、4歳児に対しフッ素塗布事業を実施し、むし歯予防に努めている。 【新生児聴覚検査費用助成】 先天性の聴覚障害の早期発見・療育を目的に聴覚検査費用（上限5千円）を助成する。（令和元年度より） 【1か月児健康診査費用助成】 乳児の発育発達促進と疾病の早期発見を目的に、1か月児健康診査費用（上限5千円）を助成する。（令和5年度より） 医療機関によっては、母親の健診費用に含まれる等により、助成券を使用せず健診を受診する場合もあるため、健診自体の受診の有無は、乳児家庭全戸訪問事業等で把握している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
5年度実績 【乳幼児健診】 年間合計58回実施 【歯科検診等】 2歳児歯科検診・・・年間12回実施 4歳児フッ素塗布・・・真岡市歯科医師会に委託 【新生児聴覚】 県内医療機関に委託（県外医療機関は扶助費） 【1か月児健診】 県内医療機関に委託（県外医療機関は扶助費） 6年度計画 【乳幼児健診】 年間合計52回実施 【歯科検診等】 2歳児歯科検診・・・年間12回実施 4歳児フッ素塗布・・・真岡市歯科医師会に委託 【新生児聴覚】 県内医療機関に委託（県外医療機関は扶助費） 【1か月児健診】 県内医療機関に委託（県外医療機関は扶助費）				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 乳幼児健康診査受診者数	人	2126	2232	1963	1870	2400
				イ 新生児聴覚検査受診者数	人	626	505	432	439	500
				ウ 1か月児健康診査助成数	件	-	-	-	363	500
				エ						
				オ						
				② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移		
【乳幼児健診】 4か月児、9か月児、1歳6か月児、3歳児とその保護者 【歯科検診等】 2歳児、4歳児とその保護者 【新生児聴覚検査】 聴覚検査を受診した新生児とその保護者 【1か月児健康診査】 1か月児健診を受診した乳児とその保護者				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 乳幼児健康診査対象者数	人	2193	2294	2003	1904	2470
				イ 新生児聴覚検査対象者数	人	643	506	432	439	500
				ウ 1か月児健康診査対象者数	人	-	-	-	417	500
				エ						
				オ						
				③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移		
各健診・検査により健全な発育・発達の評価をすることに加え、異常や疾病を早期に発見し、必要な医療や保健サービス等による適切な支援が受けることで、乳幼児の発育・発達を促進する。				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 乳幼児健康診査受診率	%	96.9	97.2	98.0	98.2	98.0
				イ 新生児聴覚検査受診者からの有所見率	%	0.4	0.2	0.2	1.1	0.2
				ウ 1か月児健康診査助成割合	%	-	-	-	87.1	87.0
				エ						
				オ						
				(2) 総事業費の推移				単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	1,371	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	12,530	13,470	12,198	12,971	16,939	
	事業費計（A）			千円	12,530	13,470	12,198	14,342	16,939	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 母子保健法に基づき実施しており、乳幼児の健全な発育・発達を促すためにも重要な事業である。 真岡市総合計画(施策2-1 子育て支援の充実)、真岡市まち・ひと・しごと創成総合戦略(戦略57, 58)にも結び付き、整合性が図れている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 母子保健法に基づき実施しており、乳幼児の健全な発育・発達を促すためにも重要な事業である。 集団健診、個別健診への費用助成を行うことで、すべての対象者が発達状況の確認と疾病の早期発見の機会を得ることができるため、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 母子保健法に基づき実施しており、また発達段階に応じて適切な時期・内容を設定して実施しているため、対象者・意図は妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 対象者全員への個別通知のほか、ホームページ、子育てモバイルナビ、市週報、医療機関等への周知等の手段を取り、周知している。 未受診者に対しては、電話・訪問による受診勧奨を全数実施している。 疾病等により受診が困難な場合を除き、受診することができる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 必要な事業を行うため、最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続 母子保健法に基づく事業であり、すべての対象者の健やかな成長を促進し、疾病等の早期発見をするためにも重要なものであるため。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td style="border: 1px solid black; border-bottom: 2px solid black;"></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; border-bottom: 2px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; border-bottom: 2px solid black;"></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	/	低下		/	/
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	/																			
	低下		/	/																			
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2次評価会議で指摘された事項																					